

# 令和6年度組織目標



部局名	文化スポーツ部
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○文化スポーツ部主要プロジェクトの着実な推進</p> <p>目標： ・国スポ・障スポ大会の開会に向けた着実な準備 ・彦根城世界遺産登録に向けた取組や「幻の安土城」復元プロジェクト等による本県文化財の情報発信</p>
	<p>○文化スポーツ拠点施設の機能強化・活性化</p> <p>目標： ・びわ湖ホールや希望が丘文化公園等、文化施設の機能強化と活性化 ・新・琵琶湖文化館や、埋蔵文化財センター等の文化財の保存・活用の中核施設の整備やあり方検討に向けた取組の推進</p>
	<p>○将来の文化スポーツ振興につなげる取組</p> <p>目標： ・国スポ・障スポ大会のレガシーの具体化検討 ・観光振興局と連携した文化観光の検討 ・プロスポーツの県内定着に向けた連携推進</p>
	<p>○環境負荷に配慮した文化スポーツ施設の整備の実施・検討</p> <p>目標： ・環境負荷に配慮した文化スポーツ施設の機能強化の実施 ・CO2排出削減を意識した国スポ・障スポ大会の具体化</p>

所属名	文化芸術振興課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○滋賀県文化振興基本方針（R3～R7）の推進 「場をつくる」「人を育む」「地域や社会に活かす」</p> <p>目標： ・学校と連携した文化芸術プログラムの参加児童数 <u>26,000人</u> ・障害者等の文化芸術活動を支える拠点づくり <u>3か所以上</u> ・次期基本方針(R8～R12)策定に向けた調査等の実施</p>
	<p>○所管施設の機能強化・活性化 (びわ湖ホール、文化産業交流会館、美術館、希望が丘文化公園)</p> <p>目標： ・びわ湖ホール大規模改修に向けた着実な事業推進 ・希望が丘文化公園の活性化に向けた事業手法の検討</p>
	<p>○滋賀の多様な美の魅力の発信</p> <p>目標： ・美術館整備基本計画（R8.3策定）に向けた研究調査の実施 ・県内外ミュージアムとの連携によるナイトミュージアムの実施 ・社会的処方取組の実践</p>
	<p>○【見直し・効率化】課室内協議の効率化（時間管理の徹底）</p> <p>目標： あらかじめ論点を整理し到達点を共有するなどして効率化を図り、1回の協議時間を概ね30分以内とする。</p>

所属名	文化財保護課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○「幻の安土城」復元プロジェクトの着実な推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和の大調査の推進（次世代文化財技師の育成）</li> <li>・デジタルによる見える化アプリ製作の開始</li> <li>・博物館第1期展示改修の完成（R7.3月リニューアルOPEN）</li> <li>・築城450年祭（R7～8）に向けて部局横断による準備</li> <li>・交流事業の推進（調査研究検討会議の開催、周年事業の検討）</li> </ul>
	<p>○埋蔵文化財センターの機能強化の検討の着実な推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能強化検討会議の設置と開催（3回）</li> <li>・耐震診断結果を踏まえた、今後のあり方の内容のブラッシュアップ</li> <li>・公開活用機能を付加した機能強化の検討</li> <li>・検討会議の意見の取りまとめ</li> </ul>
	<p>○琵琶湖の水中遺跡魅力発掘・発信事業の着実な推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者会議の設置と開催（2回）</li> <li>・有識者会議での保存活用基本構想の内容検討（50%進捗）</li> <li>・講演会の開催（1回）</li> <li>・展示会の開催（1回）</li> </ul>
	<p>○新・琵琶湖文化館整備の着実な推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計業務の推進、整備に向けた機運の醸成（県民フォーラムの開催等）</li> </ul>
	<p>○幅広い世代や地域を対象とした文化財の活用事業の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の魅力発信のための講座・セミナー等50回以上（うち県外向け活用事業10回以上）、参加者数4,000人以上</li> </ul>
	<p>○彦根城世界遺産登録に向けた国内推薦の決定</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イコモスとの対話への対応</li> <li>・事前評価結果を反映した推薦書素案の作成</li> <li>・彦根城の価値の周知（シンポジウム2回）</li> <li>・国際会議の開催（1回）</li> </ul>
	<p>○【見直し・効率化】適正な入札業務のための取組の実施</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な入札業務の執行（チェックリストの利用徹底、複数の職員による関連書類の確認）</li> </ul>

所属名	スポーツ課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○スポーツで「からだところ」の健康の実現 「する・みる・支える」機会の拡大（選手・応援者・ボランティアの増）</p> <hr/> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国スポ・障スポを契機としたシンボルスポーツの盛り上げ・定着（県内10競技以上）</li> <li>・県内各地でのプロスポーツの盛り上げ・定着（県内6チームの集客力・理解促進UP → 年間総観客数 140,000人）</li> <li>・県内各地でのスポーツイベントの開催（県民スポーツ大会、障害者スポーツ大会、びわ湖マラソンなど）</li> <li>・新しいスポーツへのチャレンジ（eスポーツ・アーバンスポーツ）</li> <li>・中学校部活動地域移行に向けた受け皿の整備・指導者確保、および理解促進</li> </ul>
	<p>○スポーツを通じた地域活性化の推進</p> <hr/> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツツーリズムの推進（県内外からの誘客）</li> <li>・スポーツイベント等での大学・企業との連携促進</li> <li>・（再掲）県内各地でのプロスポーツの盛り上げ・定着</li> </ul>
	<p>○国スポ・障スポの滋賀レガシーの創出</p> <hr/> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ文化「する・みる・支える」の定着</li> <li>・持続可能な県立施設の運営・発展（更なる企業連携の促進）</li> <li>・（再掲）国スポ・障スポを契機としたシンボルスポーツの盛り上げ・定着</li> <li>・（再掲）県内各地でのプロスポーツの盛り上げ・定着</li> <li>・（再掲）中学校部活動地域移行に向けた受け皿の整備・指導者確保、および理解促進</li> </ul>
	<p>○【見直し・効率化】DXを活用した県施設予約システム（統一化）の整備</p> <hr/> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立施設予約における県民の利便性、および業務の効率性向上に向けた取組</li> </ul>

所属名	国スポ・障スポ大会局
R6年度に特に注力する事項（目標）	○リハーサル大会の着実な実施と大会準備の加速 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度実施予定のリハーサル大会の着実な実施。</li> <li>・開・閉会式会場、県運営競技会場、障スポ競技会場の実施設計完了。</li> <li>・国スポ第3次、障スポ第2次仮配宿計画の策定と全日程における客室確保の達成。</li> <li>・第2次輸送実施計画の策定と全日程におけるバス確保率90%以上の達成。</li> </ul>
	○大会認知率の向上と機運醸成 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・国スポ認知度80%以上、障スポ認知度75%以上</li> <li>・ボランティア1万人参加</li> </ul>
	○2025年を見据えた競技力の向上 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀国スポでの天皇杯順位3位以内</li> <li>・障スポ選手の発掘・確保（18名）</li> </ul>
	○”輝く”豊かな未来に向けたレガシー創出 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・レガシー2025創出推進本部での議論を通じ、令和7年度以降の施策への反映</li> </ul>

局内室名	国スポ・障スポ大会局 総務企画室
R6年度に特に注力する事項（目標）	○レガシー2025創出推進本部を基盤にした取組推進 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・レガシー創出へ部局を横断した企画・立案への情報共有・調整を図り施策や具体化へつなげる。</li> </ul>
	○選手にやさしく、みんなが輝く式典の開催準備 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・式典参加選手の負担減を図るとともに、両大会に関わるすべての人が主役として輝く式典実施要項の策定</li> </ul>
	○わたSHIGA輝く国スポ・障スポ MLGs宣言を踏まえた開催準備 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会参加者等への環境配慮の呼びかけ内容等の検討</li> <li>・CO<sup>2</sup>ネットゼロに向けた取組の具体化と共有</li> </ul>
	○【見直し・効率化】実施本部体制の検討（職員動員の精査） 目標： <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務を円滑かつ効率的に行う実施本部体制(案)の策定</li> </ul>

局内室名	国スポ・障スポ大会局 広報・県民運動室
R6年度に特に注力する事項（目標）	○県民の大会への期待感を高める広報 目標： ・国スポ認知度80%以上、障スポ認知度75%以上
	○多くの企業・団体に応援される大会づくり 目標： ・広報啓発へのご協力企業 新たに100社 ・寄附・企業協賛によるご支援の拡大
	○レガシーにつながるボランティア文化の醸成 目標： ・運営ボランティアへの1万人参画、ボランティア研修の充実。
	○【見直し・効率化】企業・団体への働きかけの効率化 目標： ・企業訪問等の機会には、対応する室員が、係の枠を超えて、次の全ての依頼を行う。 ①広報啓発依頼 ②寄附・企業協賛依頼 ③ボランティアの呼びかけ

局内室名	国スポ・障スポ大会局 競技運営室
R6年度に特に注力する事項（目標）	○市町の国スポ・リハーサル大会の開催支援 目標： ・リハーサル大会運営費への支援（52件、39大会）、各競技への県の関与、助言などを行い、円滑な開催につなげる。
	○障スポ競技会開催準備の推進 目標： ・安全・安心な会場づくりのための実施設計を完了（バリアフリー対策、カームダウンスペース設置など含む）
	○国スポ県運営競技の競技会開催準備の推進 目標： ・リハーサル大会を着実に開催し、本大会に向けた課題等を検証する。
	○【見直し・効率化】競技会運営における簡素・効率化の検討 目標： ・障スポ・国スポ県運営競技準備業務、記録業務における簡素・効率化、プログラム電子化などの検討を完了

局内室名	国スポ・障スポ大会局 施設調整室
R6年度に特に注力する事項（目標）	○安全・安心な開・閉会式等に向けた準備 目標： ・開・閉会式会場等の仮施設整備（バリアフリー対策含む）の実施設計完了 ・開・閉会式等の警備計画書（自主警備・交通警備）の作成
	○市町競技施設整備の着実な支援 目標： ・リハーサル大会に向けた市町の特殊競技施設整備の実施
	○仮配宿計画の策定と着実な客室確保 目標： ・国スポ第3次、障スポ第2次仮配宿計画の策定と全日程における客室確保の達成
	○輸送実施計画の策定と着実なバス確保 目標： ・第2次輸送実施計画の策定と全日程におけるバス確保率90%以上の達成
	○【見直し・効率化】公共交通機関を活用した環境にやさしい開・閉会式輸送の実施 目標： ・一般観覧者等の最寄駅からの徒歩参集の具体化

局内室名	国スポ・障スポ大会局 競技力向上対策室
R6年度に特に注力する事項（目標）	○2025国スポ総合優勝に向けた競技力向上 目標： ・成年選手の計画的確保（R7.4新規確保約50名）を完成させるとともに、開催年までの2か年一貫の、質・量を伴った強化計画の策定を競技団体に促し、その実行を支援することで、天皇杯3位獲得を目指す。
	○2025障スポ全種目出場に向けた選手確保・育成 目標： ・障害区分を踏まえた開催県出場枠を充足するため、残り18名の選手確保を行うとともに、当該選手が本番で自信を持って活躍できるようスタッフの確保（28人）、競技別練習会等の充実を図る。
	○本県選手の活躍情報の積極的発信 目標： ・対策本部SNS、地元TVメディア（BBC・NHK天津放送局）を活用し、選手の活躍情報（競技結果を除く）を50回以上（週1回程度）発信する。
	○【見直し・効率化】出場選手にかかるメディカルチェックの効率化 目標： ・スマートフォンアプリを活用したメディカルチェックシステムの対象を全競技に拡大する。